



## Alumni の動き

### ◆ 令和3年度第1回岡山大学 Alumni (全学同窓会) 理事会を開催

10月23日(土)第1回岡山大学 Alumni (全学同窓会)を本部棟第一会議室(オンライン併用)で開催しました。理事会では、榎野学長より岡山大学の近況についての報告から始まり、役員の交代、令和2年度事業報告および令和2年度会計報告並びに監査報告、Alumni 活動におけるデジタル化の推進について、Alumni 総会等について審議が行われ、活発な意見交換があった後、承認されました。



理事会の様子

[https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1\\_20211023\\_1.html](https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20211023_1.html)

## 岡山大学の動き

### ◆ 第4回金光功労賞授賞式、第1回金光奨励賞授賞式を開催



受賞者との記念撮影

本学は10月23日、第4回金光功労賞授賞式および第1回金光奨励賞授賞式を開催しました。

今回で4回目となる金光功労賞では、本学医学部卒業生の糸島達也氏を表彰しました。「金光功労賞」は、篤志家の金光富男氏(本学2期卒業生・本学名誉会員)のご厚志によるご寄付に基づき、本学や社会に貢献し、顕著な功績や善行のあった同窓生および教職員(退職者を含む)を対象に選考を行い、顕彰するものです。糸島氏は、岡山済生会総合病院長、同名誉院長、岡山県医師会理事、NPO法人岡山医師研修支援機構理事長、岡山県地域医療支援センター

一長等をそれぞれ歴任し、医師として長く従事する傍ら、医師の地域偏在を解消、地域医療の維持・発展に貢献しており、医療福祉分野における社会貢献は顕著であるとともに、本学の経営協議会委員を務めるなど、本学への顕著な功績があると認められました。

また、今回が第1回となる金光奨励賞は、本学や社会に貢献し、顕著な研究成果等を上げた同窓生又は教職員(区分1)、他の教職員の模範となるような実践により特に顕著な成果を上げた同窓生又は教職員(区分2)(いずれも団体を含む)を対象として新たに設けられた顕彰制度で、今回は5名(1団体を含む)を表彰しました。[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10624.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10624.html)

### ◆ 「大学の地域貢献度に関する全国調査2021」で本学の順位が大幅にランクアップしました

日本経済新聞社が調査する「大学の地域貢献度に関する全国調査2021」の結果が、日経グローバル421号(10月4日発行)に公表されました。

本調査は、「大学の組織、制度」、「学生、住民」、「企業、行政」、「働く場としての大学」、「SDGs・コロナ対応」の5分野の回答が点数化され、本学は前回調査(2019年度)から17位ランクアップ(前回31位→14位)し、大幅に順位を上げました。

とりわけ高く評価されたのが「SDGs・コロナ対応」分野で、15点満点中14点の7位を取得しました。本学のコロナ対応の取り組みである、「コロナがなんじゃ! WIN&WIN 学生プロジェクト岡大生の食支援×地域飲食店の活性化」プロジェクト、新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種、県のワクチン集団接種会場への医師の派遣、学生への経済支援の一環としての授業料免除等が評価されました。

本学が目指す「ありがたい未来を共に育み共に創る研究大学」として、これからも本学と地域の特色と強みを生かしてまいります。[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10584.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10584.html)

## ◆新工学部発足記念シンポジウムを開催

本学は9月29日、従来の「工学部」と「環境理工学部」を再編統合して、Society5.0 for SDGs の実践教育をスローガンとする新工学部がスタートしたことを記念し、その目指すべき未来として掲げる「Society5.0 for SDGs」をメインテーマとする新工学部発足記念シンポジウムを開催しました。

午前の部では、川西敦史建築設計事務所主宰の川西敦史氏による「地域と接続し社会を拡張させる建築」と題した招待講演が行われ、続いて、阿部匡伸 DX 推進担当理事による「新工学部における共育共創へのアプローチ」と題して基調講演が行われました。

午後の部では、17人の教員によるプレゼンセッションが行われ、Society5.0 に向けたデータサイエンスに関する研究や、2050年カーボンニュートラル実現のための洋上風力発電やSDGs 実現に向けた農地生態系における有機物管理の適正化などの研究成果の発表が行われました。

パネル討論では、菅誠治工学部長をモデレータとして、招待講演者の川西氏、基調講演者の阿部理事、工学部広報担当副学部長の岡安光博教授のほか、本学の大学院生で学生ベンチャー「Tech Sword」CEOの長島慶樹さん、今年度活躍が話題のData Science部(DS部)部員で岡大DXハッカソン実行委員でもある高谷つぐみさん、新設された都市環境創成コースの西田有里さんが登壇。建築分野に惹かれて新設である環境社会基盤系に進学し、建築士を目指していること(西田さん)や岡山大学発AIベンチャー企業の株式会社Tech Swordを設立し、「すべての人に、AIを。」というビジョンのもと、ノーコードAIプラットフォームによってAI技術を民主化し、最適化された未来社会の実現を目指していること(長島さん)、ハッカソンなどでの活躍が話題のデータサイエンス部の取り組みや活動(高谷さん)について紹介しました。

全プログラムを通して、新工学部の目玉の一つでもある「建築教育プログラム」に係る講演をはじめ、イノベーションコモンズ(共創拠点)の実現に向けた共育共創へのアプローチなど新工学部の多彩な取り組みの発表の場となりました。[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10591.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10591.html)



パネル討論の様子

## ◆学部・研究科へCO2濃度測定器を配付



学部・研究科へ配付したCO<sub>2</sub>濃度測定器

本学では10月20日、新型コロナウイルスの感染予防対策のため、適切なタイミングで換気を行う目安としてCO<sub>2</sub>濃度を測定するCO<sub>2</sub>濃度測定器を各学部・研究科へ配付しました。

新型コロナウイルスの感染予防対策では、適切な室内換気を行うことが重要とされています。しかし、換気のタイミングを人間の感覚で計る事は難しく、また、これからの時期、冷たい外気を頻繁に室内へ入れることは、学生の皆さんの体調面にも負担になることが懸念されます。

そこで適切なタイミングで換気を行う目安として、CO<sub>2</sub>濃度を測定することにより室内の空気の状態を数値化して「見える化」し、室内状況に応じた換気を行うため、CO<sub>2</sub>濃度測定器50台を全学一括購入して、各学部・研究科へ配付しました。

授業中等に教室内のCO<sub>2</sub>濃度を随時測定し、既定の数値を超えた場合に警告を発して室内の換気を促すことで、新型コロナウイルスへの感染予防環境を確保し、学生・教職員の皆さんの不安を少しでも取り除くために活用しています。[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10612.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10612.html)

### 【発行元】

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 (岡山大学 総務・企画部 総務課内)

Tel: 086-251-7019 Email: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>

